

神戸健康 共和国

沖縄から見えるこの国の未来

新春のつどい

1月6日(土)に神戸医薬研究所、地域福祉会あさず、東神戸医療互助組合とともに、恒例の「新春のつどい」を開催しました。

記念講演に沖縄民医連会長の座波政美(ざはまさみ)先生をお迎えし、「沖縄から見えるこの国の未来～いま沖縄で起こっていること～」というテーマでお話を伺いました。普天間基地近くで連続して起こった米軍ヘリからの落下物の事件を始め、これまで沖縄で起こってきた事故や、事件、そして沖縄戦からの沖縄の歴史を丁寧に話していただきました。

これまでも何度か沖縄の現状について話を伺う機会はありましたが、改めてまとまった内容をお聞きし、現政府の対応に怒りを覚え



るとともに、何としてもこれ以上の基地建設をストップし、沖縄のみならず日本国内から、アメリカ軍の撤退を働きかけていかなければならないという思いを強く持ちました。

座波先生は講演の最後に名護市長選挙、沖縄知事選挙に向けての支援を訴えられ、「知ろうとしな

ければ、無知なまま。見ようとしなければ、見えないまま。考えようとしなければ、意志がないまま。動かなければ、そのまま、なにも変えられない。私たちの未来は私たちで作ろう」と語りかけられました。

(本部総務部 武内美和子)

高齢期を安全に暮らす・支える・そのために!

2018年新春講演会

姫路 医療生協



1月19日(金)午後、姫路キャスパホールで2018年新春講演会を開催しました。今回は、元漫才師の経歴を持ち、テレビ等でも活躍中の角田龍平弁護士に「高齢期を安全に暮らす・支える・そのために!」と題してお話いただきました。

角田弁護士は、悪徳商法の事例や撃退法について笑いを交えなが

ら紹介。 「自分が何も手を打っていないのに、儲け話は向こうからやってくる」という言葉は印象的でした。

高齢になると判断能力が衰えるのは仕方のないことなので、事前に自身の財産管理について考えておくことも大切ですと角田弁護士。法律に関するところでは、財産管理の援助や亡くなった後の事務まで頼んでおくことのできる財産管理契約の方法や、最近よく耳にする成年後見人制度について

も、判断能力が不十分になった時に、あらかじめ自分で選んだ人物に後見をしてもらう『任意後見制度』と、家庭裁判所に申請して後見人を決めてもらう『法定後見人制度』があることを紹介。その違いや注意点についても話されました。「財産について子から親に尋ねることはしにくいものであり、親の方から話しておくか、いざというときどこに何があるかわかるようにしておくことも高齢期の準備の一つです」と角田弁護士。

弁護士の視点や経験に基づき、難しい法律の内容を楽しく解り易く説明してくださり、高齢期の財産管理について知識を深めることが出来ました。

(組合員サービス部 藤木祐弥)

名護市長選挙
残念な結果
だったけど、

あきらめない!



2月4日投開票の名護市長選挙は、辺野古新基地建設反対を掲げる現職の稲嶺進候補が基地建設容認派の新人候補に敗れる残念な結果となりました。この間、兵庫民医連からも合計21名が選挙支援に入りました。支援参加者の感想を抜粋して紹介します。



私たち 支援参加者は、「今、名護で何が起きているのか？」学んだことや経験したことを地元兵庫で伝え、支援の輪を広げることでオール沖縄の闘いに連帯していきたいと思います。

(ひまわり診療所 西川朋子)

決して 民意そのものが消え入ったわけではないのだ。辺野古の海が子々孫々へ受け継がれていく方法を模索しなければならない。共有しなければならない。実行しなければならない。

(神戸医療生協本部 足立数比古)

落選直後に稲嶺候補が『まだ基地を作らせないことは可能だ』と声を挙げてくれました。今後、那覇市長選、県知事選挙を控えています。辺野古に基地を建設させないためにも、民医連全体でまずは、三千万署名の取り組みを強めていくことが今後の活動に必ず必要になると信じます。

(神戸医療生協本部 藤原公輝)

一緒に 行った若い人たちの心を思うと胸が痛みます。たたかいはここから、たたかいはいまからとお伝えください。感受性の豊かな青年達でした。きっと今回の辛い経験が成長の糧になると確信しています。

(東神戸医療互助組合 松浦勝)